



世界のライフスタイル業界をリードするメゾン・エ・オブジェ/ 来場者数の増加を記録した2010年9月展以上に期待高まる2011年1月展

かつてない程、ライフスタイル分野のすべてを揃える「総合性」と「クオリティ」を結集することにこだわる精神、それが「メゾン・エ・オブジェ」2010年9月展が発信したメッセージでした。別の場所で開催していた家具見本市「ムーブル・パリ」を「メゾン・エ・オブジェ」の会場に移したことで、さらに新ホール誕生に伴い、ホール7とホール8にメゾン・エ・オブジェが切り札とするハイエンドなコレクション群をまとめた新しいゾーンを設置したことがまさにその具体例でした。世界各国からの来場者はメゾン・エ・オブジェの意気込みに敏感に反応、難しい経済状況にもかかわらず前年比+6,2%を記録したのです。9月展を成功させたバイタリティーは、2011年1月21日より25日まで開催の次回展を一段と充実させるさまざまな企画準備へと継続して行きます。“パリは、クリエイションの中心地”キャンペーンが誇る、ファッションとライフスタイルの見本市に揃う出展コレクション開催場所としてのパリがいかに相応しいかを実証するメゾン・エ・オブジェ2011年1月展にぜひご期待ください。

メゾン・エ・オブジェ 2011年1月展のポイント

ハイエンドコレクションの魅惑

2011年1月展は、かつてない程、フランス式アール・ド・ヴィーヴル（生活の術）の粋が会場のいたるところで展開されるメゾン・エ・オブジェとなるでしょう。特に、インテリアシーンとメゾン・エ・オブジェ・エディトゥールが行われるホール7および隣接するホール8のナウ！生活空間を彩るデザインを併せた一角は最高のクリエイションが揃うインテリアデザインの新しい宝石箱とも呼ばれる場所となります。

メゾン・エ・オブジェ 2011年度のクリエイター・オブ・ザ・イヤーは
グリーン建築のリーダー、エドゥワール・フランソワ (Edouard FRANCOIS)

1957年パリ生まれの建築家、デザイナー、都市計画家でアーティストであるエドゥワール・フランソワは、グリーン建築のリーダーとして世界に知られています。具体的には、建築と景観をコーディネーションした環境事業として正面を植物で飾ったジュビーユ（フランス）のホリデーハウスが特に高い評価を得ました。また、フランス、モンペリエの集合住宅“伸びる建築 (l'Immeuble qui pousse)、パリの集合住宅”タワーフラワー (Tower Flower) “、パリ、ホルトダスニエールの“バンブーハウス (l'Immeuble aux bambous)、パリのホテル、フーケ・パニエールは、彼の名声を一段と高めました。エコロジカルな建築と緑の融合を試み、現在パリで進行中の“エデン・ピオ (Eden Bio) プロジェクト (20世紀開始、2011年まで)” マセナ (Massena) ” 地区開発プロジェクト (2014年まで) による集合住宅建設においてプランター活用等による自然を生かしながら「持続性」ある建築の発展に情熱を注いでいます。エドゥワール・フランソワは、我々をとりまく自然の世界で残して行かなければならないもの、リサイクルすべきものを分かりやすくしかも学術的知識をベースにアーティストティックな表現ができる完璧なアーティストでもあるのです。

www.edouardfrancois.com



「インテリアシーン」と

「ナウ！」のクリエイター・オブ・ザ・イヤーも決定。

毎年メゾン・エ・オブジェは、メゾン・エ・オブジェ本体とメゾン・エ・オブジェを構成する小見本市のうち、「インテリアシーン」および「ナウ！」でもクリエイター・オブ・ザ・イヤーを選出しております。

以下、2011年1月展のそれぞれの概要ご紹介とともに「インテリアシーン」と「ナウ！」では、クリエイター・オブ・ザ・イヤーのプロフィールを併せてご覧ください。

インテリアシーン：国際的なインテリア業界のビッグブランドが揃います。

ホームファッションの世界で著名なクリエイター達の才能がこのインテリアシーンを特別なスペースにします。他を寄せ付けない卓越した世界を創り出す国際的なブランドがインテリアデコレーションの最も美しいプロジェクトを完成させるために揃い、会場の至るところで豪華なインテリアのシーンが展開されます。セノグラフィーはバオラ・ナヴィンヌが担当(ホール7)。

scenes
d'interieur
PARIS

インテリアシーンのクリエイター・オブ・ザ・イヤー2011 インテリア建築家、ジル & ボワジエ

パトリック・ジルとドロテ・ボワジエは、業界デビュー当時の1995年に、建築家クリスチャン・リエグルのもとに居た頃に知り合いました。パトリックはその後8年間勤め続け、ドロテがこの最初のキャリアからいち早くフィリップ・スタルクのもとに転職（その後9年在籍）すると同時に、アトリエの責任者となりました。パリのエコール・カモンド出身のパトリックと、ペニンゲン国立装飾美術大学を首席で卒業したドロテは、2004年に2人で会社“ジル&ボワジエ”を創設することを決意しました。パトリックもドロテも、驚かせる演出が大好きで、クライアントの個性をヒントに創作をしたり、新しいセンセーションを創り出す詩情あふれる世界を展開したりと素晴らしい才能の持ち主です。モスクワのラ・メゾン・バカラ（フィリップ・スタルクのプロデュースのもと）ニューヨークのブダカン（リエグルとのコラボ）という、外食産業界の大プロジェクトに携わることにより彼らは国際的な名声を高めました。2010年9月には、オークションハウスであるアールキュリアル・ブリスト-ブーラン-F.タジャンのレストランおよびグラン・バレ内のレストラン“ミニ・バレ”との契約を済ませました。

www.gillesetboissier.com



タラン・ア・ラ・カルト (Talents à la Carte)

インテリアシーンの中心部に設置される「タラン・ア・ラ・カルト」では、メゾン・エ・オブジェ主催者が招待したフランスの新進クリエイターの作品を紹介します。

ナウ！生活空間を彩るデザイン：デザインに焦点を当てた国際的見本市

デザインに注ぎ込む魂が結集。イノベーションとクリエイションの粋を他に先駆けて「発見」できます。新しいデザインの息吹の真っ只中でオブジェや家具の最新コレクションをお選びください。（ホール8）。



ナウ！生活空間を彩るデザインのデザイナー・オブ・ザ・イヤー2011 インダストリアルデザイナー、エルワン&ロナン・ブルレック兄弟

ロナン・ブルレック（1971年生まれ）とエルワン・ブルレック（1976年生まれ）は10年あまり共に仕事をしてきました。1997年、パリ家具見本市（サロン・ド・ムーブル）で発表したディスコントラクテッドなキッチンが、ジウリオ・カッペリーニの目にとまり、彼らとして初のインダストリアル・デザインのプロジェクトを引き受けることになりました。2000年には、イッセー・ミヤケの依頼を受け、パリのA-Pocシリーズのコレクション用のスペースデザインを手掛けました。ヴィトラ社の社長、ロルフ・フェルバウムとの運命的な出会いは、2002年に新しいコンセプトのオフィス家具システム「Joyn（ジョイン）」を生み出すことに繋がりました。ロナンとエルワンは、現在も数多くのインダストリアルデザインを手掛けております。ヴィトラ、クヴァドラ、マジス、カルテル、エスタブリッシュ&サンズ、リーンロゼ、アクサー、アレッシィ、イッセイ・ミヤケ、カッペリーニなど。また平行して、モダンファーニチャー・ギャラリーとして名高い“ギャラリー・クレオ”で、彼らの仕事の幅を広げるべく基礎となる研究を絶えず続けています。一方、建築プロジェクトも限定的に行っており、2006年にはラ・メゾン・フロタントや2010年には、テキスタイルメーカー、クヴァドラ社のショールーム（ストックホルムとコペンハーゲン）、ホテル・カーサ・カンパール・ベルリンのレストラン“ドス・バイオス”等を挙げることができます。

www.bouroullec.com



テック・ナウ！(Tech'now!)

デザインとテクノロジー。デジタル、無線 LAN、インターネットの発達により、現在の家の中には、いたるところにハイテクノロジーの存在が認められます。第2回目の企画となる「ナウ！」の中心部で、ライフスタイル分野にいかにか反映されているかをお見せするスペースが「テック・ナウ！」です。これら現代のテクノロジーとデザインとの結びつきの素晴らしさをご覧ください。

メゾン・エ・オブジェ・エディトゥール：年に一度のエディターステキスタイルとのランデブー
インテリアテキスタイルの最も美しいブランドを結集。国際的評価が高い 150 あまりのハイエンドな
ブランドが最新コレクションを発表します。(ホール7)。

クラフト・エスパス・メティエ・ダール

きらきら輝く宝石箱のような場所がバイヤーの皆様をお迎えし、発見と驚きの世界へと誘います。シ
ーズンの幕開けから、ロゴ、スタンドブース、ビジュアル・アイデンティティが新しくなり、全ての
アートクラフトファンにとって避けては通れない場所になっています。(ホール4)

メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ：文化的オブジェとのランデブー

会場内の中心部に移動した新しいスペースで、ミュージアム・グッズを中心とする文化的ギフトや
人々のコミュニケーションを繋ぐ役割を果たすオブジェの数々をホームファッションの見本市、メ
ゾン・エ・オブジェをご覧ください。(ホール6)

メゾン・エ・オブジェ 2011年1月展はイベントが目白押し：

メゾン・エ・オブジェは数々のトレンドや新しいアール・ド・ヴィーヴルによって形成されるライフスタイルを提案する卓越したトレードショ
ー。都会的に洗練され、国際的な横断性によって世界でもユニークなアプローチを試みて明日のライフスタイル市場を提案。
他に類を見ないハイエンド市場を目指しています。2011年1月展は、今まで以上に会場を盛り上げる種々のイベントが企画されます。



craft

l'espace
métiers d'art



ホール 5Bでは：

ビジネスラウンジ 「スペシャル・アルキ・デザイナー (special ARCHI.DESIGNER)」
建築家、インテリアデザイナー、デベロッパー等、大きなプロジェクトを取り仕切るプレスク
リプトゥールと呼ばれる分野の方々を対象とする特設ラウンジを設置します。出展者、ジャー
ナリスト等との懇親を深めるネットワークワーキングの場として活用していただくことが目的です。
ビジネスのお役に立つあらゆる情報やサービスを提供。個別相談も承ります。



会期中、連日開催のセミナー

メゾン・エ・オブジェの会期中5日間、メゾン・エ・オブジェ主催のセミナーを開催いたしま
す。ライフスタイル市場の分析解説、市場動向、イノベーション...業界関係者の関心が高いテ
ーマで毎日3講演行われます。

マテリオテック (Matériothèque)

今日では、「素材」分野はリッチで肥沃なものを求める場となっていると申せましょう。マテ
リオ (matériO) は、イノベーション豊かな素材とテクノロジーを管理するプロフェッショナル
なサービス組織です。1000種以上の出たばかりの最新素材データと世界的なエキスパートが
揃ったマテリオ (matériO) は、これからスタートさせるプロジェクトへのヒントを得るためにも、
あらゆる新素材とイノベーション性への知識を得るためにも必要不可欠な情報源の役割を
果たします。ぜひご利用ください。

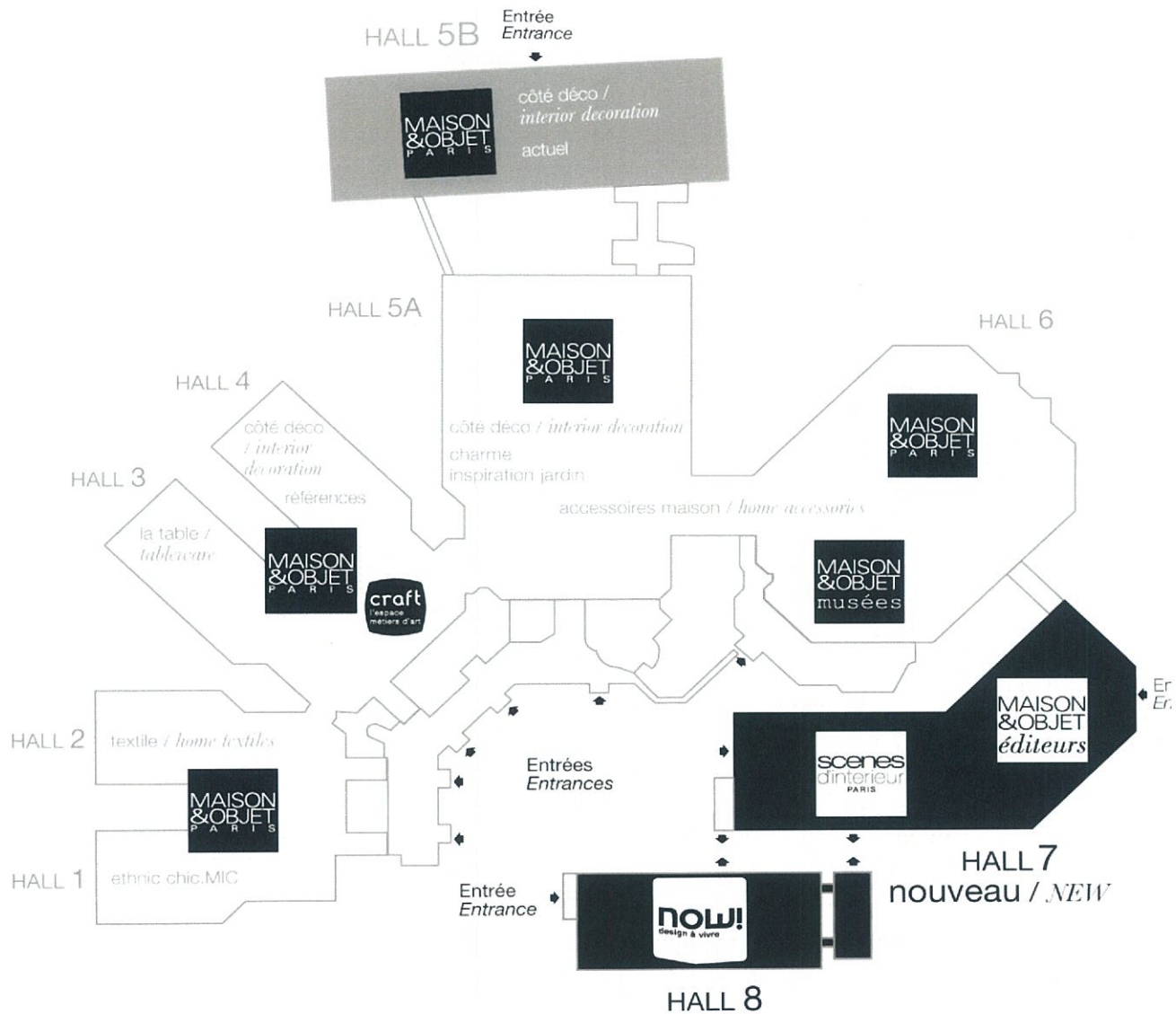
正面エントランス付近のシアター形式ホール402 (Amphithéâtre 402)では：

パリ・デ・シェフ (PARIS DES CHEFS)

料理もクリエイションという思想が熟す時期を待っていたメゾン・エ・オブジェ主催者が実施
するスターシェフとクリエイターとのデュオによって各作品を仕上げるに至る過程を映像を背
景に語るトークショー形式のイベント。スターシェフの作品たる料理の試食のチャンス付き。
欧州を中心に対象者を選出して過去2回開催。大好評のうちに迎える第3回目となる2011年1月
展では、いよいよ日本のスターシェフが登場します。レ・クレアション・ド・ナリサワ (東京
都港区南青山) の成澤由浩氏です。メゾン・エ・オブジェ会期中の2日目の22日より3日間、
会場内のシアター形式ホール402にて催されます。料理とデザインが同じ価値を分かち合う
「パリ・デ・シェフ」をぜひお見逃しなく。

www.parisdeschefs.com





メゾン・エ・オブジェ2011年1月展の概要

メゾン・エ・オブジェ、インテリアシーン、クラフト、ナウ！生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・エディトゥール、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ

入場は業界関係者に限ります

開催期間：

2011年1月21日（金）→25日（火）

開催時間：

9時30分→19時（最終日は18時閉館）

開催場所：

パリノール見本市会場

ホール1, 2, 3, 4, 5A, 5B, 6, 7, 8 & 8B

セクター / 小見本市：

Hall 1. エスニックシックMIC

Hall 2. テキスタイル

Hall 3. テーブルウエア

Hall 4. クラフト

Halls 4 & 5A. コテ・デコ

Halls 5A & 6. ホームアクセサリー

Hall 6. メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ

Hall 5B. コテ・デコ・アクチュエル

Hall 7. メゾン・エ・オブジェ・エディトゥール

Hall 7. インテリアシーン

Halls 8. ナウ！生活空間を彩るデザイン

Hall 8B. ナウ！生活空間を彩るデザイン

主催者：

SAFI, (フランス、アトリエダール組合とリードエクスポジション・フランスの共同出資による運営機関)
Tel. +33 (0)1 44 29 02 00 - Fax : +33 (0)1 44 29 02 01
email : info@safisalons.fr

日本でのお問い合わせ先：

メゾン・エ・オブジェ日本オフィス
〒107-0062東京都港区南青山5-4-6
パレロワイヤル南青山403 (株)デアイ内
TEL(03)3409-9495
FAX(03)3409-9684
E-mail : m-objapon@deai-co.com

www.maison-objet.com

2011年度のメゾン・エ・オブジェ開催スケジュール：

●2011年1月21日(金)→25日(火) @パリノール見本市会場

メゾン・エ・オブジェ、インテリアシーン、クラフト、ナウ！生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・エディトワール、メゾン・エ・オブジェ・ミューゼ

●2011年9月9日(金)→13日(火) @パリノール見本市会場

メゾン・エ・オブジェ、インテリアシーン、クラフト、ナウ！生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア、インドア、ムーブ・パリ

<<速報>>

メゾン・エ・オブジェ2011年1月展で発表されるトレンド
(会場内ホール1からホール3まで恒例の3つのトレンドスペースが設置されます)

大テーマ：^{アンタニシテ}**INTENSITE** (激しさ)

ホール1 - フランソワ・ベルナル：*Un-plugged* (電源を切って...)
ホール2 - ヴァンサン・グレゴワールby ネリーロディ：*Hypnotic* (催眠)
ホール3 - エリザベス・ルリッシュ：*Haute Tension* (高度の緊張)